

KSKQ

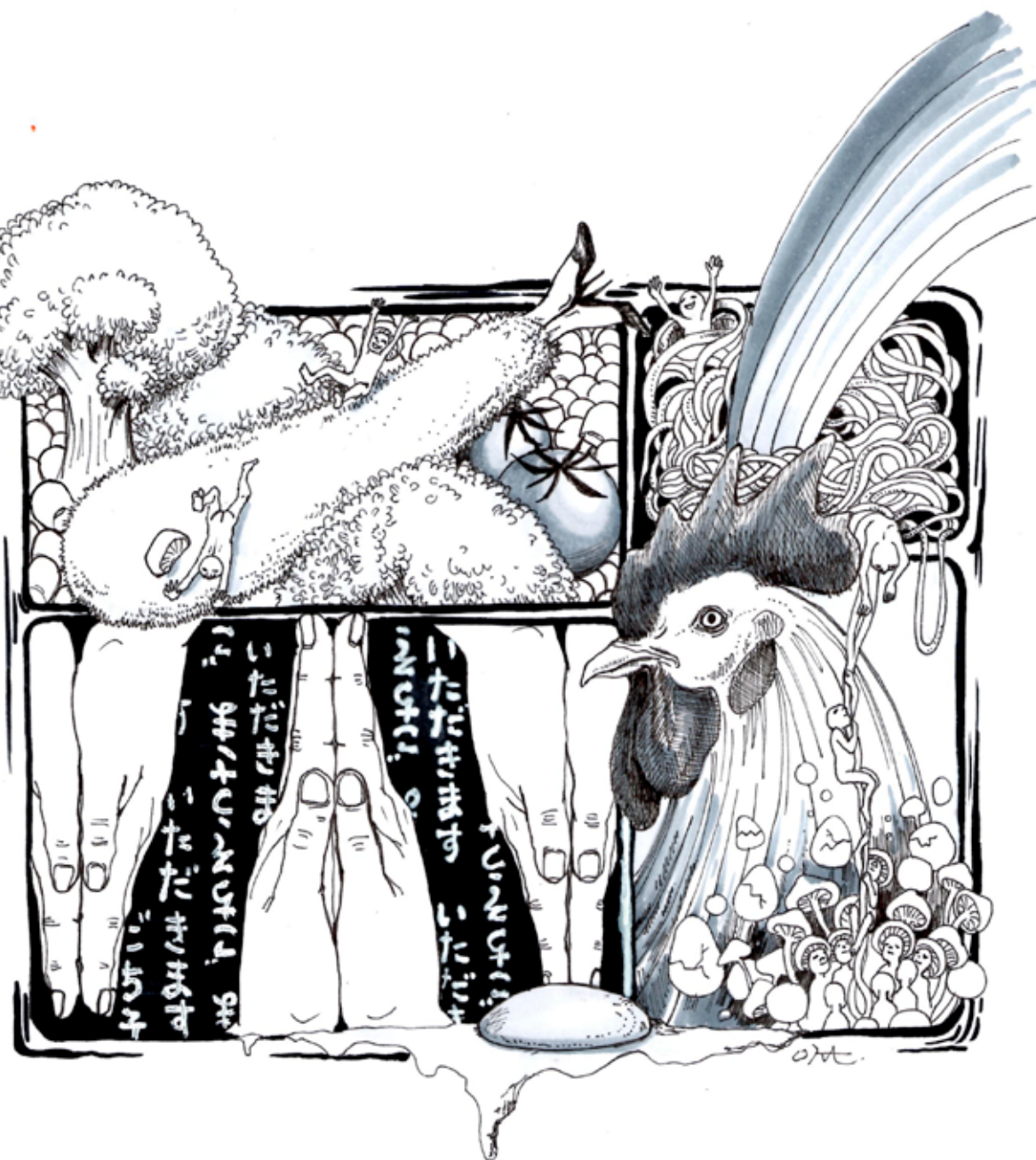
イマージュ

2019年5月

1991年9月3日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

1年半ぶり 関西での新作公演

態変流、ファンタジーの世界へようこそ！



劇団態変 第69回公演

『箱庭弁当 さ迷える愛・破』

6月21日(金)～23日(日)

アイホール(兵庫県伊丹市)

作・演出・芸術監督 金満里

演奏 瀬戸信行 / クラリネット

ジャージ川口 (from ちんどん通信社) / バンジョー

飯屋崎郁子 (from ちんどん通信社) / アコーディオン

音 かつふじたまこ

夢見る『箱庭弁当』

今回、私は児童文学をめざし、『箱庭弁当 さ迷える愛・破』をファンタジーとして作った。小さい頃、自分ではどうしようもない、大人社会があった。巨大な壁のように立ちちはだかり、取り囲まれ、自発性を摘み取られる無力感。そこに佇めば佇むほど、夢見る心は風船のように膨らみ、空想の世界へと自由自在に遊んでいた。

逸話を一つ

障碍児童施設に入所した当初、7才頃のこと。

夜9時に病棟の電灯が消され、消灯、という嫌な時間が訪れる。

大好きな看護婦さんが夜勤だったその晩も、お約束道理、私はベッドの上で掛布だけの寝具を掛けられて、寝たことにされた。

病室の大部屋は4つあり、間の仕切りはナースステーションから見通せるようガラス張りで、全てお見通し状態。

小さい子の部屋でベッドに収められた私は、となりの部屋で大きい子たちを一人ずつ寝かせ、消灯準備に余念のない大好きな看護婦さんを、施設で介護をする女性職員への呼び方で、「お姉ちゃん！」と、ありったけの声を出し、何度も返事してくれるまで呼び出した。

施設で職員を呼ぶ時は、最後の要件まで付けないと、応じてくれない。それを知っていたのに、その時は、なぜか「お姉ちゃん！」しか出てこず、ありったけの大声を張り上げて、なんどもなんども返事してくれるまで、くり返し同じ言葉で呼んだ。

するとお姉ちゃんが応えてくれた。「なんに、そんな大声でおらんどの（怒鳴ってる）の？」。すると私の口を付いて出た言葉が、「さみしいねん」だった。

2つの部屋をまたいだ大声で驚かせ、最後に出た言葉。個人の感情を吐露する、小さい女の子が投げかける、止むに止まれぬ言葉に、みんなどつと笑った。お姉ちゃんは「さみしい、言われても、お姉ちゃんはどうしようもないわ。」と応えた。それは当たり前で、自分でも判っていた。何でそんなばかなことで大声を張り上げて、突然になにを言いだすんだ、と自分が一番呆れている。

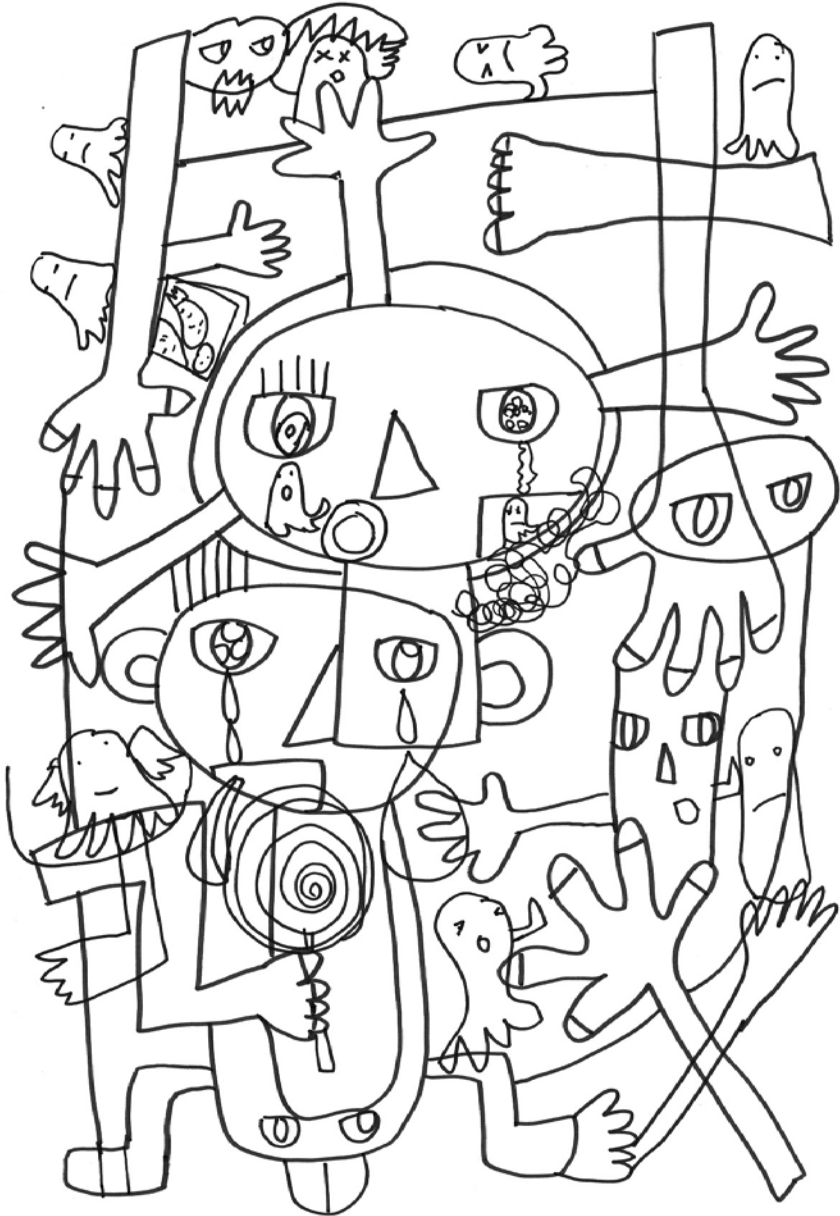
本当にさみしかった？というところでもなく、予定調和に進められる夜の電灯消し、というお約束ごとに一石を投じたい衝動だったのだ。だから、真剣に大声を出せし、みんなと一緒に自分でも笑っていた。

そんな、真剣なおばかさんを演じてみたくなるほど、大好きなお姉ちゃんは、いつも面白おかしく、自分も楽しみ、子どもたちの単調な施設生活に起伏をつけるよう、大声で歌ったり、子どもと会話したりしながらやる気を起こさせる名人だった。

これまで人に言えなかった、私の中の恥ずかしい甘えん坊の一面だ。だけど最近、この歳になってようやく、この一件は、無邪気で茶目っ気ある勇気だ、と気づいた。現実には風穴を開ける夢見る心を今の世にこそ失わずに、どんな辛いことがあっても、どこかに誰かがいて、救いは見いだせるというメッセージを子どもたちへ届けたくなったのだ。

『翠晶の城 さ迷える愛・序』では、貧乏・富豪・ニートを出して、経済に縛られ、周りを困ってくる城、って何？という問題を。今回の『箱庭弁当 さ迷える愛・破』では、人の代わりに、食物が自分をとりもどす冒険の旅を描くことで、食べるにまつわる悲喜こもごもが、命を象徴する事件を発見して欲しい。でも決してほっこりとはできない、させない、のだよ。

金満里



クレズマー音楽

クレズマー音楽は東欧ユダヤ人固有の器楽のことである。クレズマー（イディッシュ語でクレヅメル）とはヘブライ語のクレイ（容器）とゼメル（歌）の合成語で、本来は楽器を指す。彼らはユダヤ人の結婚式や葬儀、その他の祝祭時に演奏した。

ユダヤ人の音楽には、聖歌歌手によって朗詠されるカントール音楽、家庭で彼ら固有の言語イディッシュで歌い継がれたイディッシュ民謡、そして器楽のクレズマーがある。これらの旋律やリズムは彼らが離散した東欧各地に伝わる異郷の旋律やリズムから借用され、やがて彼ら固有の音楽文化として定着していった。

東欧のユダヤ教はハシディズムという神秘主義的傾向の宗派が多数派であった。宗教的指導者のラビはニグンと言われる歌詞のない歌を即興で作り、信者とともに合唱し、輪舞する。ハシディズムは中世スペインのユダヤ神秘主義カバラに由来する。神が創造したはずの世界に善と共に悪も跳梁するのは、創造の際に神の属性を受け止めるはずの容器が神性の流出の勢いで破壊されたためである。容器の破片は散らばり、地上のあらゆるものに神性が宿る。人間の役目はこの破片を拾集し修復（ティクーン）することである。その際、一切の邪念を排し、神との神秘的合一を得るために歌

態変初となるファンタジー『箱庭弁当』は、クレズマー音楽と態変の身体が初共演！
本番では、クラリネット、バンジョー、アコーディオンによる生演奏が繰り広げられます。
本作のために結成されたバンドが奏でるメロディーには、どんな背景があるの？
ユダヤ文化研究家で、演奏家でもある 樋上千寿さんにご寄稿頂きました。

【寄稿】 むむっ！？『箱庭弁当』
『箱庭弁当』というタイトルに、まず意表を突かれた。いったいどんな舞台になるのか、とぼんやり思っていたら、あのチラシにまたもや「どひゃっ」となった。なんだ、この可愛らしさは！？

頭の中が「？」でいっぱいのまま向かった初めての稽古。なにやらカラフルな衣装を身にまとった金満里と渡辺あやのが抜き稽古をしていた。「むむ、今回は最近の態変とは何かが違うぞ」と直感した。

通し稽古が始まると、いつものように金の厳しい声が飛ぶ。でもやっぱりいつもとなんか違うのは、その演出の金さえも思わずブツと吹き出してしまふ場面の数々。目指すは「ファンタジー」。なるほど、だんだんと「？」が解けていく。「今回は子どもにも観てもらいたいねん。」と金はニコニコと笑う。

それでもやっぱりいつもと変わらず参み出てくるのは、「此处ではない新しい場所へと旅立ちたい」という沸々とした思い。

渡辺あやのの「看板女優」への道にも目が離せない舞台になりそうですよ。

（かつふじたまこ、音作家・『箱庭弁当』楽曲提供）



い踊ること、すなわち音楽と舞踏は極めて重要な要素であった。

クレズマー独特の旋法はユダヤ音楽の固有性の一部ではあるが、元々借用したものであるため、その特徴はまた異郷の音楽の特徴であるとも言える。ではユダヤ音楽の真の固有性とは何か。それは旋律的特徴よりはむしろ、その表現の抑揚の仕方、装飾的特徴、そして即興性である。Josh Wadkinによると、クレズマーには歌唱的特性、舞踏的特性、そして物語的特性の三つの特性があるという。これらが絶妙にその割合を変えつつ旋律の表情を自在に変えていく。しかしこれは演奏自体が単体で繰り広げるものではない。この特性はイディッシュ・ダンスの表現においても同様に見られる。奏者はクレズマー固有の特性を巧みに表現するが、ダンサーもこれらの特性を豊かな身体言語によって柔軟に表現する。両者は互いにこれらの特性を高度に理解し、瞬時にコミュニケーションすることで、他の民族音楽や舞踏にはないユダヤ固有の音楽文化を発展させたのである。クレズマー音楽の最大の魅力とは、この特性を介した演奏と舞踏の即時的インタープレイの妙にこそあると言えるだろう。

（樋上 千寿、ユダヤ文化研究家・演奏家）

【報告】 エキストラパフォーマンス
オーディション開催！

GWも始まったばかりの4月28日、アイホール内の会場にて『箱庭弁当 さ迷える愛・破』のエキストラオーディションが行なわれました。

まずは、金満里から全員に提示されたのは、身体を感じるための「転がる」という体験。意外に、自分自身で「転がる」動作をした経験が少ない人も多く、徐々に身体が変わっていくのを目の当たりにしました。

また最終的に、稽古最中の『箱庭弁当』の一場面をパフォーマンス全員が入って、エキストラの方を合わせて動いてみる、という試みがあり、一斉に動く身体の面白さが感じられました。

合格されたエキストラパフォーマンスは、アイホールの本番の舞台に登場します。そこまでにまた稽古を経て、一層面白いものになっているか、ご期待下さい！



劇団態変は2019年度新規継続賛助会員を募集しています。

劇団態変は、2012 年 4 月に賛助会員制度を設けました。行政からの補助金を受けず、身体障害者である態変のパフォーマーが主体となり芸術創造活動を行っていくため、資金面でのご協力を市民の皆様をお願いする取り組みです。会員の皆様の力によって、様々な企画や稽古の場となるメタモルホールを維持し運営することができています。

現在、2019 年賛助会員を募集しております。

年会費

個人会員(年会費) ー□ 5,000円

法人会員(年会費) ー□ 20,000円

＜ご入会方法＞ 下記いずれかの方法をお選びください。

郵便振替

同封の振替用紙にご記入の上、お振込み下さい。
口座番号 00920-8-320343 加入者名 イマージュ・劇団態変

PayPal

メールアドレスとクレジットカードをお持ちの方はホームページよりご利用いただけます。劇団態変HP → 日本語TOP → 「賛助会員制度」にお入りください。

会員特典

- ・会員証発行
 - ・劇団態変公演映像DVD進呈（毎年 1 回当該年の公演ダイジェスト映像）
- （個人会員特典）
チケット料金500円割引
（何度でもご利用可能です）
（法人会員特典）
一作品 1 名様ご招待

態変情報 発信中！

SNS

劇団態変では、公演の最新情報を Facebook、Twitter でもお届けしています。稽古場の写真なども掲載してますので、ぜひ、チェックしてみてください！
◎ Facebook
<https://www.facebook.com/taihen1983/>
◎ Twitter アカウント
@imaju_taihen

メルマガ

態変メールマガジン e-imaju も不定期で発信しています。公演情報や製作風景、イベントのご案内など、さまざまな情報をお知らせ。ご希望の方は、「メルマガ配信希望」を書いて、下記までお申し込み下さい。
メール：taihen.japan@gmail.com
バックナンバーはホームページからご覧いただけます。
http://taihen.o.oo7.jp/mailmagazine/mm_top.html

DM

DM の住所変更については下記までご一報お願いいたします。
メール：taihen.japan@gmail.com
葉書：〒 533-0031 大阪市東淀川区西淡路 1-15-15 劇団態変

イベント情報

さなぎダンス #12 7/13（土）14（日） @メタモルホール

劇団態変の本拠であるメタモルホールで、2012 年からスタートした人気のダンス公演企画。詳細は追ってホームページ等で発表！ お楽しみに。 主催：ダンスの時間プロジェクト

《劇団態変出版物ご案内》

情報誌イマージュ vol.73

最新刊
2019年春号

クロスオーバー談義 姜信子×金満里

「声と、歌と、身体と」



1998 年 3 月に金満里の母、金紅珠が亡くなり、同年、金は自身の初めてのソロ作品『ウリ・オモニ』（韓国語で「わたしのお母さん」）を大野一雄の監修で舞った。その後、各地で再演を続けてきたが、今回、2019 年 2 月 8 日から 11 日、東京で 4 ステージの公演を举行。「母を看取ることなく逝かせて二十年」と金自身が語る節目の今回は、とりわけ夥しい命が降りてくることを感じる舞台だった由。そのようにまるで憑依されたかのように舞い尽くした最終日、アフタートークのゲストとして迎えた姜信子さんは、旅の各地で埋め込まれた声を、物語を、掘りおこしてみせる特異な作家。刺激的なクロストークであった。（本誌より）

[劇場からの報告] 『ウリ・オモニ』を終えて ...ザ・スズナリ支配人 野田治彦

[劇評] 金満里『ウリ・オモニ』 ...山根由起子 華雪 北山晴一

相模原大虐殺事件イマージュ声明

ピンクトライアングル vol.7 ...大黒党ミロ

[酒と食いもののエッセイ] 10 ブルイックラディ ～アイラフェスティバル弾丸ツアー ...本郷正武

イラスト&エッセイ 伊祖から届く風21 ...メラミキコ

政治に参加と協働を 保坂展人氏講演「あるものを活かして、ないものを創る」

...世田谷区長の保坂展人氏が2期7年半の区政の中で積み上げてきたボトムアップのまちづくりの実践を大いに語った講演の採録。

金満里のページ 『ウリ・オモニ』21 年を越えて

1 冊：500円 /年間購読 1500円（年3回・送料込） バックナンバー3冊 1000円

＜購入方法＞ 同封の郵便振替用紙にご記入の上、お振込み下さい。単品でのお申込みは希望の号数記入もお忘れなく！

口座番号 00920-8-320343 加入者名 イマージュ・劇団態変

バックナンバーの内容は劇団態変 HP からご確認下さい。

1994 年 8 月発行の vol.1 から、最新刊 vol.73 まで全ての内容紹介がご覧いただけます。

劇団態変 HP > 出版物案内>バックナンバー でご覧ください。

劇団態変第69回公演

箱庭弁当

さ迷える愛・破

作・演出・芸術監督 金満里

演奏 瀬戸信行 / クラリネット
 ジャージ川口 (from ちんどん通信社) / バンジョー
 飯屋崎郁子 (from ちんどん通信社) / アコーディオン

音 かつふじたまこ

出演 金満里 小泉ゆうすけ 下村雅哉 向井望 渡辺あやの
 井尻和美 池田勇人 田岡香織 熱田弘幸 他、エキストラ出演者

日時 6月21日(金) 19:30★1
 6月22日(土) 13:30 / 18:00★2
 6月23日(日) 12:00 / 16:30
 ※受付開始は開演60分前、開場は開演30分前

★終演後、アフタートークあり

★1=白井聡(政治学者)×金満里

★2=土居安子(大阪国際児童文学振興財団)×金満里

会場 アイホール
 兵庫県伊丹市伊丹2丁目4番1号 JR伊丹駅前

チケット [前売] 一般 3,500円
 障害者・介助者・シルバー(70歳以上) 3,000円
 U-22(22歳以下) 2,500円
 U-12(12歳以下) 1,000円
 飛行機割引 2,500円

飛行機割引あります



[当日] 一律 4,000円

チケット取扱い

①劇団態変

TEL 06-6320-0344
 E-mail taihen.japan@gmail.com
 HP <http://www.ne.jp/asahi/imaju/taihen/>

②Confetti(カンフェティ) 一般チケットのみ取扱

<http://confetti-web.com/taihen>
 0120-240-540(平日10:00~18:00)

③アイホール 一般チケットのみ取扱

072-782-2000(電話予約のみ)

※アイホール(JR伊丹駅すぐ)は、大阪空港(伊丹空港)から近い、ということで、飛行機で全国から駆けつけて欲しい!という願いを込めて、飛行機割引を作りました。
 6/21-23に飛行機で大阪に来られた方が対象です。
 ご本人のお名前の飛行機チケット、予約画面などをご用意ください。
 ※予約される際は「一般」を選択し、当日、受付で飛行機割引をお申し出ください。

助成:芸術文化振興基金

提携:伊丹市立演劇ホール

発行人:関西障害者定期刊行物協会/大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

イラスト:表紙、p5 / OKA p2、p3 / 細尾ちあき(ぶるすあるは)

編集人(返送先):イマージュ 金満里 仙城真 栗園香 和田佳子

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路1-15-15

tel/fax 06-6320-0344

e-mail taihen.japan@gmail.com

定価50円